



錦町議会だより

# おたす



2020. NO  
133

目次	
● 令和2年7月豪雨	2
● 第2回定例会	3
● 一般質問	4～13
● 議会のうごき	14

豪雨被害に遭われた方へ  
心よりお見舞申し上げます

# 令和2年7月豪雨

冠水した  
田畑と道路



職員と一緒に  
議員も土のう作り

## 本町の被害状況 (被害調査5日 ※7月7日とりまとめ分)

住宅

床上浸水

7区6戸 9区17戸 11区1戸

20区2戸 22区1戸 24区37戸

26区1戸 計66戸

床下浸水

1区1戸 3区1戸 4区2戸

7区3戸 9区3戸 11区7戸

12区1戸 13区1戸 15区4戸

16区3戸 19区1戸 20区2戸

21区2戸 22区3戸 24区17戸

計51戸

その他

事務所、附属家

床上浸水 ゼンカイミート他1

床下浸水 木上平岩公民館

事業用機械 (トラクター、コンバイン、田植え機、葉タバコ乾燥機等) の水没

乗用車・軽自動車の水没

山の斜面や水田の畦畔の法面の崩落 道路や耕作地への土砂の流入

河川の護岸擁壁の崩壊 水無川橋 (福島↓平良) 損壊

7月5日 (日) ~ 6日 (月)

降雨被災 (住宅)

床下浸水 11区2戸

災害ゴミ仮置場7月5日開設

(武道館裏 ↓ 7月8日 ~ 一武中跡地)

# 第2回 定例会

# 新型コロナウイルス感染症に 対する専決を承認

令和2年第2回定例会は、6月8日から12日までの5日間の日程で行われ、平成31年度各会計補正予算等の専決処分の承認13件、令和2年度各会計補正予算4件、条例改正等6件、契約1件、報告3件、諮問1件、人事案件2件が上程され、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり承認、可決した。また、陳情2件が上程され、総務建設常任委員会に付託した結果、1件を採択とし、残る1件は継続審議となった。今回の一般質問には、8人が登壇し、執行部の考えを質した。

## 条例改正等

- ① 錦町条例等の一部を改正する  
条例（専決処分）  
地方税法等の一部改正に伴い改正するもの
- ② 錦町国民健康保険条例の一部を改正する条例（専決処分）  
地方税法等の一部改正に伴い改正するもの（限度額の引き上げ及び軽減対象の拡大）
- ③ 錦町国民健康保険条例の一部を改正する条例（専決処分）  
新型コロナウイルス感染症に感染した被保険者等に係る傷病手当金の条項を加えるもの
- ④ 錦町介護保険条例の一部を改正する条例（専決処分）  
介護保険法改正による低所得者の保険料軽減強化に伴い改正するもの
- ⑤ 錦町条例の一部を改正する条例（専決処分）  
新型コロナウイルス感染症に対応するため、徴収猶予等の特例条項を加える等の改正を行うもの
- ⑥ 錦町行政区設置条例等の一部を改正する条例  
第18区が総会において、2集落から1集落に決定されたことにより改正するもの
- ⑦ 錦町手数料条例の一部を改正する条例  
通知カード発行等の廃止に伴い改正するもの
- ⑧ 錦町保育の必要性の認定の基準及び保育料に関する条例の一部を改正する条例  
新型コロナウイルス感染症により保育の提供がされなかった場合に利用者負担額を日割り計算できるようにするための改正

⑨ 錦町国民健康保険条例の一部を改正する条例  
保険税率の改正に伴うもの

⑩ 錦町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例  
熊本県後期高齢者医療広域連合条例の一部改正に伴い改正するもの

## 契約

業務委託契約について

契約の目的

錦町ブロードバンド機器更新業務

契約金額

1億1,390万2,800円

契約の相手方

イクストライド株式会社

代表取締役 岡村 健志

## 諮問

人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて

住所

錦町大字西1357番地3

氏名 東 睦子

住所

錦町大字西2899番地4

氏名 徳田由紀子

## 人事案件

錦町農業委員会委員の任命について

住所

錦町大字一武1839番地

氏名 深水 勇治

錦町固定資産評価審査委員会委員の選任について

住所

錦町大字一武1880番地1

氏名 柳瀬 正州

## 報告

① 平成31年度錦町一般会計繰越明許費繰越計算書

② 平成31年度錦町一般会計事故繰越繰越計算書

③ 平成31年度錦町水道事業会計予算繰越計算書

## 陳情書採択

地方たばこ税を活用した分煙環境整備に関する陳情書

## 第2回定例会一般質問事項一覧

議員名	質問事項	質問の要旨
岡田議員 (P 6)	農業用水路、排水路の維持管理の現状について	農家数の減少と高齢化で地区（工区）によっては溝さらえもままならない。近い将来、農地の維持管理は出来ても、用排水路の維持管理は難しい。町としての対応策は。
	町水道事業の現状と将来に向けた計画について	水道料金の値上げが計画されているが、現状での問題は無いのか。
	町職員の勤務状況の改善について	①残業手当のあり方、勤務状況はどのように改善されたか。 ②職員の健康、ストレスに対してどう対応しているのか。
荒川議員 (P 7)	災害避難所「要改善点」課題について	①避難所の感染対策について ②ハード面（駐車場外灯・バリアフリー化）改善について
	人吉球磨定住自立圏共生ビジョン・錦町総合計画・錦町子ども子育て支援事業計画について	①人吉球磨定住自立圏共生ビジョン第1次ビジョンのPDCAサイクル検証と第2次ビジョンの問題点指摘 ②錦町総合計画第5期のPDCAサイクル検証と第6期作成にあたり、問題点指摘 ③錦町子ども子育て支援事業計画第1期のPDCAサイクル検証と第2期作成にあたり、問題点指摘 *P=Plan（計画）*D=Do（実施） *C=Check（評価）*A=Action（改善）
藤川議員 (P 8)	町長の政治姿勢について問う	①町職員の労務管理について ②木上地区の活性化について ③「コロナ禍」対策について
右田議員 (P 9)	第6期錦町総合計画について	①部活動から社会体育への移行後の支援について（継続） ②空き家等を利用したチャレンジショップの開設について（新規） ③乗合タクシーの充実 具体的な構想は（継続） ④国土強靱化の推進で国土強靱化地域計画の策定について（新規）
竹田議員 (P 10)	今後の新型コロナウイルス対策	①町内感染者が出た場合の対策 ②町職員の安全対策（防護服、マスク等） ③梅雨、台風シーズン時の避難所運営、増設の対策 ④健診時のコロナ対策 ⑤避難所のコロナ対策 ⑥児童、生徒の学校生活の問題点は ⑦授業日数確保について ⑧給食センター納入業者 錦町商業共同組合補助について ⑨町内各事業所への経営支援について ⑩今後のプレミアム商品券発券について
石松議員 (P 11)	錦南部農道について	①南部農道の進捗状況は ②流末排水路工事について ③狩政線の拡幅工事について ④狩政線の接続点と南部農道の一期地区の終点までの道路改良は ⑤工業団地線を南部農道につなぐ産業道路は
	鳥獣害対策について	①耕作放棄地の現状と増減は ②耕作放棄地の発生防止と解消のため活動は ③鳥獣害対策として緊急に進める対策は ④狩猟者の確保育成に向けた取り組みは ⑤南部農道の山林側に金属柵の設置は
	ひきこもり支援について	①錦町の現状と実態調査は 調査をされているなら、その現状と実態は ②就労から居場所まで社会とつながる仕組みとして、町の考えは ③問題を抱える家族への支援体制は ④新型コロナウイルス感染予防のため、3ヶ月の休校を余儀なくされた子供達への対応は ⑤町の台所あかりの活用は

## 第2回定例会一般質問事項一覧

議員名	質問事項	質問の要旨
早田議員 (P 12)	町の基幹産業への支援は	①小規模事業者持続化補助金の自己負担増額補助について ②錦町版持続化給付金事業について
	企業誘致の現状は	①現在の状況は ②材料の調達は ③発電事業開始後に本町が期待する事（雇用、他産業の活性化）
	災害対策について	①水無川 畑（コバ）堰水害対策について ②小中学校内整備について
吉田議員 (P 13)	新型コロナウイルス対応と今後の町内経済対策について	①新型コロナウイルスで子供の学習時間確保と今後の対策 ②ふるさと納税返礼品、学校給食に人吉球磨産牛肉の使用の考えは ③町独自の町民への給付と企業支援は
	住民子供たちが安心安全で通行出来る交通環境、公共施設管理について	①町内の通学路（県道一武覚井、人吉水上、錦湯前）線の歩道の対策と219号一武原地区の植樹帯の撤去と県道脇の樹木伐採の考えは ②町道中原線の拡幅の計画は ③錦湯前線一武バイパス開通に伴う交通指導員の増員と交差点の信号設置とトリックアート、一武小校庭周囲のフェンスの高さについて
	防災、減災国土強靱化対策事業の今後と要望、自然災害と新型コロナウイルスの複合災害発生時の対応について	①南部農道の進捗状況と開通時期、排水対策は ②町有林、五分林の植林状況と今後 ③木上岩城急傾斜対策と迫、野間地区の急傾斜対策は ④木上地区の企業誘致現状は ⑤新型コロナウイルスと地震が同時に発生（複合災害）時の対策は

## 定例議会一般質問に関する意見書

令和2年6月29日

錦町議会議長 金山 民幸 殿

一般質問とは、議題と関係なく行財政全般にわたる議員主導による政策論議であるから、質問する議員も、受ける執行機関とともに十分な準備が必要である。そのために、他の発言と違って通告制が採用されている。

我々議員としては、通告締め切り日までに質問の構成を練り理論構成をして、その要旨を議長に通告して質問の原稿を作成している。そのなかで同一内容の質問通告がある場合は、議会運営委員会や議長が調整すべきである。また、議会運営に当たる議長としては、質問の要旨を理解し質問と答弁がよくかみ合うように議事を進めていくべきである。このために質問の要旨・質問事項詳細記載の通告制が錦町議会で採用されていると理解している。\*この通告に当たっては「質問の内容を具体的に記載する」と町村議会の運営に関する基準・第6章発言・第2節一般質問84条項（議員必携149ページ参考）では示している。通告書に具体性がない場合、議長は受理するべきではない。また、一般質問は、議長の許可を得て行うものであり、議員の発言が自由だからと言って、どんな内容の発言も許されるものではない。おのずから節度ある発言でなければならない。例えば、議場の秩序を乱したり、品位を落とすものであったり、個人のプライバシーに関する発言まで許されるものではない。令和2年第2回定例会において上記の問題点を検証し改善を願うものである。

提出者 錦町議会議員

岡田 武志

早田 和彦

竹田農利人

池田 秀晴

吉田 眞二

荒川 孝一

一般質問

町政の「こころ」が聞きたい

8人が登壇  
(要約掲載)

農業用水路、排水路の維持管理の現状は



岡田 武志 議員

施され、現在は、多面的機能支払交付金事業として、非農家と一体となった保全管理に対する支援が行われている。

**岡田** 農家数の減少と高齢化により、工区によっては「溝さらえ」もままならない。近い将来、農地の維持管理はできても、用排水路の維持は難しい。町として対応は。

**農林振興課** 全国的に農家戸数の減少や農業従事者の高齢化で水田、畑、水路など適切な保全管理が困難となっている。平成19年度から農地、水、環境保全向上対策が実

**農林振興課** 私自身、一つの組織に属しており、そうした話は聞いている。一つの例として、排水路をパイプライン化し、草刈面積を減らし、転落事故等の防止などが考えられる。



作業状況

**岡田** 用排水路の改良できる所は早急に取り組むべきで、ただ水路に生息する生物(蟹)等の配慮が必要だ。又17分館には「あぜの会」という地元の青年部で作る有償ボランティアの組織があり、活動されている。各工区間の情報交換が必要だ。

町水道の現状と  
将来に向けた計画は

**岡田** 水道料金の値上げが計画されているが現状での問題は。

**地域整備課** 問題は大きく2つあ

ると考えている。一つ目は、現在78%の町水道の加入率であり、残りが簡易水道組合となっていること。二つ目は、料金設定についての問題だ。公営企業として経営収支を安定させるためには料金の値上げが必要だ。

**岡田** 水道料金は全国的にも格差があり、安い所は20㎡853円、高い所は7,000円で、8倍の差があり、錦町は、2,360円で人吉球磨管内で最も安い料金となっているが、それでも簡易水道の倍となっている。料金が安い方がいいのは当然だが、安全安心、安定的な水の供給、消火栓や、リフォーム補助金等を受けられないデメリットもある。町民の理解を得るため丁寧な説明を求む。町水道は人が使用するのが前提となっており、畜産など大量の水を必要とする事業者もいる。対応策を講じる必要がある。

※その他、質問事項3、町職員の勤務状況について、残業手当の在り方、勤務状況は、どのような改善されたか質した。

## 「町長、お言葉を返すようですが。」



荒川 孝一 議員

**荒川** 梅雨の時期を迎え、災害時の避難所、本町でも改善すべき点がいくつかある。又、新型コロナウイルス感染症対策として3密回避も必要。対応策は。

**総務課** 避難所内の十分なスペース確保、避難所を開設した場合に、受付の段階で検温し、消毒液による手の洗浄を行っていく。

**荒川** 感染予防対策として現存の避難所の3倍から5倍のスペースが必要と試算されている。又、分散型、駐車場車中泊型へと対応し

なければ。

**町長** 今まで本町においては、避難所を開設した時に、大体最高3ヶ所開けて30人程度、一ヶ所10人程度だった。想定外ということをごまかで想定するかは難しいが、今までの経緯から、対応できると考えている。



県南豪雨を伝える報道

**荒川** お言葉を返すようですが、それは過小評価だ。今までそのくらいで済んだかもしれないが、今後は何が起きるか分からない。熊本地震もそうだった。まさか熊本であれ程の大きな地震があるとは誰も想像できなかった。準備は十分すべきだ。

### 錦中駐車場に外灯を！

**荒川** 熊本県が5月28日、避難所の感染予防指針で『可能な限り避難所を多く確保するように、又、

車中泊集約スペースの確保率』を通知している。そこで本町の1次避難所、そして3次避難所である中学校とかの駐車場外灯設置が必要と思われるが。まず、以前、設置を確約いただいた役場駐車場外灯、設置がまだだが。

**総務課** 近いうちに設置したいと考えている。

**荒川** 考える考えるばかりでなく、実行を。錦中学校、保護者からも夜暗いと意見が出ているし、避難所でもある。設置の考えは。

**教育振興課** 錦中学校に関しては外灯はなく、体育館の入口にセンサーライトが1基据えられている。

**荒川** 災害時、車中泊の可能性が出てくる。駐車場の外灯必要だ。

**町長** 車中泊の考え方だが、車中泊の場合は、役場に来ていただくのが一番だと思っている。センサーライトがあるので、それで照らせる。

**荒川** 現存のセンサーライトは、明るすぎて眠れたもんじゃない。通常の外灯を設置してもらいたい。最後に、過去にどうだったからというのは通じない。これからの気象現象は、何が起きるかわからない。避難の改善点は改善し、防災会議でも災害弱者のことも考えて意見を拾っていただきたい。

## 町長の政治姿勢を問う！



藤川 喜一 議員

### 町職員の労務管理について

藤川 町職員の時間外手当未支給問題について過去3度質問している。「休日出勤に対する割増分」が未だに未解決のまま。労基法・条例に沿って対処されたい。一連の問題発生後、是正策は取ったか。

総務課 時間外勤務については「正規」な形で『伺い』を取るということで勧めている。

藤川 具体的な措置が必要だ。「労使対策の原則」（労基法・労組法）

に立って職員組合との意思疎通が大切である。団体交渉は過去5年間に何回行ったか。

総務課 交渉は平成30年と31年に二回行っている。

藤川 昨年6月錦町職員組合が全職員（組合員）対象に「労働環境・労働条件に関するアンケート」を実施している。「改善してほしい」が95・1%あり驚いている。意見欄には多くの職員の不満の声が率直に述べられている。このアンケート結果を町長はどう捉えているか。

町長 職員組合からの要望は承知しており、改善要望は給与の改善や「渡り」の運用が主だった。要望については検討していきたい。

藤川 職員の酒気帯び運転検挙事件が新聞報道された。監督責任として課長・係長を処分している。

最高責任者として町長自ら処分を科す用意はあるか。

町長 他自治体の事例などとも照らし合わせ、今回は処分しないとすることで担当課長・係長には頭を下げて処分を取り下げたところである。

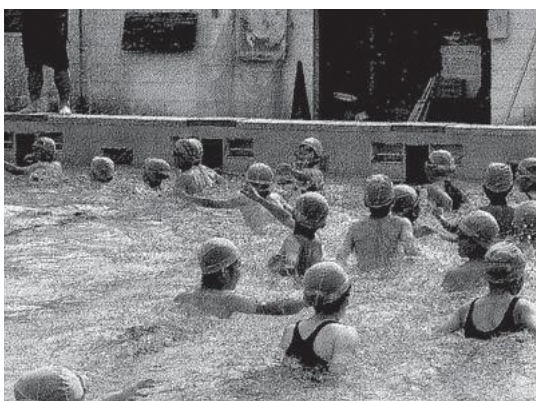
### 木上地区の活性化について

藤川 木上地区の活性化について3点に絞り質問する。(一)木上地区のインフラ整備（特に下水道の整備）(二)木上小学校プールの移転問題 (三)県道一武覚井線球磨大橋からJASTAスタンド前までの県道改良工事について、見解を求め。

地域整備課 当初計画（H5年）では木上地区も下水道接続地域になっていたが、H22年度に計画見出しが行われ計画区域外となった。

県道一武覚井線の県道改良工事については、H24年度から事業計画が進められていたがH29年度に県において計画の見直しが行われ中止となった経緯がある。県に再度要望を出し、令和2年度の事業計画に乗せて9月の補正予算（肉付け予算）で予算確保していくとの報告を受けている。

※その他、「木上小学校プールの危険性」「移転の必要性」について町長の見解を求め、早急の移転を要望した。



学校敷地外にある木上小学校プール（危険？）



## 第6期錦町総合計画の具現化を望む



右田 宣之 議員

**右田** 今般第6期錦町総合計画が

策定され、その基本構想及び計画が示され、3月定例議会において全会一致で承認された。そこで今回計画書の中からの質問で、一点目が昨年度より実施の小学校部活動の社会体育移行の件で、どうしても保護者の経費負担増が気がかりである。この点については、過去2回負担軽減の質問を行い、確かに使用料面や備品調達等に支援がなされ、保護者から重宝がられているが、更に負担軽減策を考慮

できないか。

**教育振興課** 社会体育移行して1年経過で、課題も山積、今後は、クラブと保護者それに学校との情報収集及び連絡調整を図り支援していく。

**町長** 1年を経過したところ、今後は経過を見ながらアンケートを取り町ができる部分は対応していきたい。

**右田** 2点目が、公共交通の整備の中で乗合タクシーの充実とあるが、具体的な構想はできているのか。

**総務課** 実質的に具体的な構想はない。

**右田** 提言として、慰霊祭時、年々参加者が少なくなってきたので臨時停留所の新設を検討願いたい。

**町長** 確実に利用度は伸びている。それに今後も高齢化率は伸び、免

許証返納者も増える傾向、従って時代に応じた変化を模索して行くと思う。

**右田** 3点目が、国土強靱化地域計画の策定に関し、近年気象変動による自然災害が多く発生している。これらを踏まえ国は国土強靱化施策を講じている。これがまさしく生命、財産を守る礎だと確信しているが、この計画書の素案はできているか。

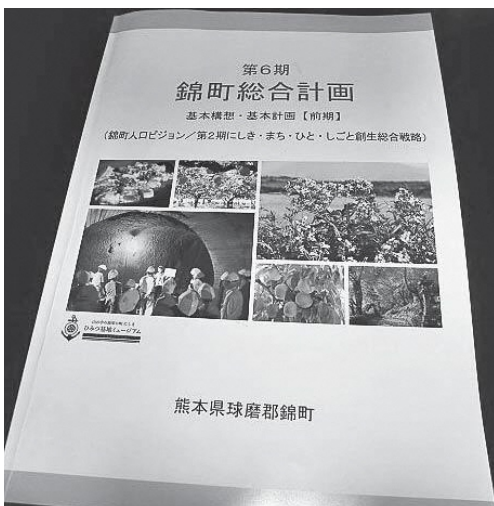
**企画観光課** 昨年度、球磨地域振興局長の呼びかけで、管内市町村や県の地域計画を参考に、関係各課の意見を集約し3月素案策定したので、それについて、振興局及び件の担当課のほうからの意見や提案を基にすり合わせを行い、6月中にはまとめ、その後公表を予定。

**町長** 国土強靱化事業は土木事業だけでなく、全ての事業が対象であるので、その点十

分考慮したうえで補助事業として載せ込み取り組んで行きたい。

**右田** 今回の錦町総合計画が絶対具現化でき、絵に描いた餅とならないよう、町長はじめ職員各位の英知をもって、錦町総合計画をま

※その他、創業支援対策の中で、空き家等を利用したチャレンジショップの開設についても質した。



第6期錦町総合計画冊子

## 新型コロナウイルスの今後の各課の対策は



竹田農利人 議員

策、指導、訓練はどうか。

**総務課** 町職員については、感染拡大が懸念された時より、宴会、総会等出席自粛、検温、手洗い、うがいの励行、マスク着用し感染の予防に努め、窓口対応には間切設置、来客との間で飛散防止を設置している。

**竹田** 新型コロナウイルス感染症が、町内に出た場合、感染症対策は万全か。また、対策計画、マニュアルは、できているか。

**総務課** 陽性患者が出た場合の対策は、国、県のマニュアルに沿って対応する。陽性患者の方は、医療機関に隔離され、保健所の職員や厚生労働省より調査、濃厚接触者と疑われる方は、自宅待機を二週間程度願う。

**竹田** 役場内に感染者が出た場合の対応と職員の安全防護体制、対

保健師が健康状態の確認等の計画は。高齢者、障がい者、乳幼児などの避難対策はどうか。

**健康保険課** 避難をされた時は、必ず検温、熱があつた時は、違う避難所に行つていただき、健康チェック後、保健所と連携し、適切な措置を取る。福祉避難所の場合、健康センター等を利用したい。

**竹田** 基本検診の計画があるが、今後集団検診、乳幼児健診時の対策、健診時の職員の安全性はどうか。

**健康保険課** 3密を避ける割振を大幅に変更する予定。乳幼児は距離を十分に確保して健診をする。

### 教育振興課の対策

**竹田** 臨時休校後の児童生徒の学校生活に問題はないか。

**教育振興課** 順調に、慣らし登校からスタートが切れている。

### 企画観光課の対策

**竹田** 商工業者のコロナ対策は。

**企画観光課** 国、県、町としての事業継続のための支援金等をおこなう。

**町長** 町民1人5,000円の商品券を発行し、皆さん方の生活を守り、町発展を見ながら、長期的なバランスが必要であると思う。



プレミアム商品券販売

## 南部農道の現状は？



石松まゆ子 議員

**石松** 錦南部農道整備事業が、平成7年から始まり、24年たった今も開通していない。開通している所は人吉、宮崎などに行くアクセス道路として交通量も多い。又、大雨で下流への災害も起きている。しかも、南部農道の終点と狩政線の接続点は非常に危険である。安全上道路改良も含め一日も早い完成が必要と考えるが、進捗状況は。

**農林振興課** 計画変更や事業費の拡大による予算確保、事業用地取得の難航により遅れた。令和5年完了予定である。

## 鳥獣被害対策について

められているが、企業の活性化、利便性を考えた時、一武の重要路線として工業団地線を南部農道につなぐ2車線の産業道路が必要と考えるが。

**町長** 南部農道までの計画はない。今後、狩政線を事業計画に上げ進める。

**石松** 鳥獣被害は経済被害だけではなく、営農意欲の減退、耕作放棄地の増加に繋がり深刻な影響をもたらしている。緊急に進める対策は。

**農林振興課** 令和2年度の補助事業の中で、機動力のあるぐくくり畷の整備に係る経費を増額、ぐくくり畷の不足に対応する。

**石松** 狩猟期に捕獲した物への交

付金、猟友会の確保育成、狩猟免許の時期などの問題。どう対応するか。

**農林振興課** 国の対策合同会議や県への要望、管内の状況など利活用しながら対応していく。

**石松** 人吉球磨が連携して南部農道の山林側に鳥獣の侵入を防ぐ金属柵の設置の考えは。

**町長** 国に対して有害鳥獣の被害防止と言う事で陳情し、補助額の要望も進めていく。



湯前町の電気金属柵

## ひきこもりの支援体制は

**石松** 子供のひきこもりを中心に親の病気や介護など複数の問題を抱えながら生活をされている家庭に対応するため支援体制を強化する対策は。

**住民福祉課** 状況を確認した後、適切な部署や組織につなぎ、その方々に必要な情報やサービスを提供しながら適切な対応をする。行政だけでなく地域住民の温かい見守りも必要。

**石松** コロナウイルス感染予防のため子供達も休校を余儀なくされた。不安を抱える子供達の支援対策は。

**教育振興課** 学校現場と連絡調整を密に行い、児童生徒のケアに努める。

**石松** 見守り安否を確認しながら高齢者の配食サービスをされている町の台所あかりの今後の活用は。  
**総務課** プロジェクトを編制、利活用については検討中。

## 小規模事業者持続化補助金、自己負担半額補助へ！！



早田 和彦 議員

生産性向上の為の業務効率化の取組に対し国が経費を補助するもの。自己負担分に係る町の対応について検討し自己負担分の二分の一補助上限12万5,000円の補助制度を3月に制度化した。

早田 コロナの影響で経済が疲弊している状況であるが、本町経済状況についてお尋ねする。

町長 データ的には整理されていないが、全体的に相応なマイナスがあつていと認識している。

早田 令和元年9月定例会において、小規模事業者持続化補助金の自己負担割合について質問したところ、自己負担割合については検討するとの事であったが。

企画観光課 小規模事業者持続化補助金は、販路開拓の取り組みや

## バイオマス発電所誘致

早田 木上地区へ、再生可能エネルギーで注目されているバイオマス発電所建設計画があるが。

企画観光課 木上知敷原の町有地において民間事業者による計画が進められている。工場等の規模に対し土地の区域が狭い為、近隣農地を町が購入して用地拡張し、工業団地化する事が最も円滑に事業

を進める方策と判断した。

早田 町有地を借地として提供すると賃料が発生するが。

企画観光課 町有地については、国から払い下げられており、10年間は譲渡出来ない為、賃貸となる。

早田 発電方式は。

企画観光課 燃烧方式は三つの方式があるが、直接燃烧式で予定される。

早田 雇用規模については。

企画観光課 雇用については、16人

程度。地元雇用を優先したいと聞いている。

早田 町長の発電所に対する期待は。

町長 廃熱利用の農業、ミュージアムとの併設見学コース、と地域資源の有効活用ができると思う。

## 水無川、高柱川へ土砂撤去予算

早田 水無川の堆積土砂撤去に予算が確保されたとの事だが。

地域整備課 指摘のとおり水無川へ6,000万円程度の子算が、県より確保出来ている回答を得ている。また、場所については調査依頼があるので、改めて提出したい。

※その他、錦中への外灯設置、周辺整備についても質した。



バイオマス発電所建設予定地

## 子供を守る

**吉田** 登校時、そして学校内では、十分に水分が取れる。大人でも辛く歩いての下校、水分対策は。

**教育振興課** 適宜、マスクを外し屋外で人との十分な距離を確保し、こまめに水分補給するように児童生徒の水筒の残量を確認し、水を継ぎ足すよう指導に努めていきたい。

**吉田** 交通指導員、見守り隊の方々も暑期中頑張っていて頂いている。連絡を密に取り十分な配慮をお願いしたい。予測が出来ない夏場の給食提供、給食センターの建て替えは。



吉田 眞二 議員

**町長** 今ある施設を使って延命に主眼を持っている。

### ふるさと納税返礼品、学校給食に人吉球磨産牛肉を

**吉田** ふるさと納税返礼品、学校給食に人吉球磨産牛肉の使用の考えは。

**企画観光課** ゼンカイミート、チクキョウミートさんから返礼品として注文がある。

**教育長** 地産地消の利用を考えて、価格の問題もあるが努力していく。

**町長** 人吉球磨産牛肉も今回のコロナウイルスで非常に厳しくなっている。本年度に限って給食費一人2千円補助、どうか操作して考える。

**吉田** 畜産農家は、他の農家にも利益をもたらしている。飼料稲、耕畜連携、畜産農家が減少したら

耕作放棄地が増大しかねない。小中学生が大人になって給食で牛肉を出してもらった事を思い出し、ふるさと納税に繋がるかもしれない。

次に、農業の減収支援と次期作支援は。

**農林振興課** 肥育事業継続支援金、感染症対策事業持続化給付金給付事業、感染症対策雇用助成金があり、次期作支援は、高収益作物次期作支援交付金が創設、国が指定する作物で幾つかの取組等が必要であるが申請手続きが行われる予定。



町内で収穫された飼料

## 歩道の設置は

**吉田** 町内の通学路の歩道対策は。

**地域整備課** 県道覚井一武線球磨川大橋からJA木上スタンドまでの道路拡幅改良計画も予算の確保が付き、人吉水上線荒田から野間、錦湯前線中原から横山の歩道、国道219号内村、原地区の樹木帯撤去、伐採等今後も県へ要望を行い安全安心な交通環境に取り組み。

**吉田** 5分林の植林状況と今後は。

**農林振興課** 総契約数92件、継続契約32件、補助事業で取り組むため森林経営計画の対象森林として年度計画で植林、町有林も近年は間伐を主体として補助事業で植林を行っている。

**吉田** 木上知敷原への企業の進出、雇用も生まれ木上地区の活性化に繋がる。町としても支援をお願いしたい。

# 議会のうごき

## 4月

1日	・ 全員協議会 ・ 第8回錦町議会活性化特別委員会	16日	・ 広報特別委員会 ・ 第6回錦町議会活性化特別委員会作業部会
9日	・ 広報特別委員会 ・ 定例郡議長会議	21日	・ 例月出納検査（～22日）
		24日	・ 広報特別委員会

## 5月

1日	・ 全員協議会 ・ 第9回錦町議会活性化特別委員会	21日	・ 第7回錦町議会活性化特別委員会作業部会
18日	・ 例月出納検査（～19日）	28日	・ 定例郡議長会議
		29日	・ 人吉球磨広域行政組合議会臨時会

## 6月

1日	・ 議会運営委員会 ・ 全員協議会	17日	・ 例月出納検査（～18日） ・ 定例郡議長会議
3日	・ 錦町防災会議	25日	・ 決算審査（水道事業）
8日	・ 令和2年第2回定例会（～12日）	26日	・ 第8回錦町議会活性化特別委員会作業部会
10日	・ 議会運営委員会		・ 広報特別委員会



## 傍聴席から一言



小嶋 和喜さん

今までは広報で見る「議会だより」が町政を知る手段であったが、今回は新型コロナウイルス対策に関しての質問があり、その答弁が聞けるとい事で非常に興味深い事案であったので傍聴させて頂きました。

厳粛な雰囲気の中で議長より開会の弁があり指名された議員からの質問が開始され、関係部署からの丁寧な答弁を聞く事ができました。

約一時間の問答が議会だよりでは簡潔に要約されており大きな流れは読み取る事はできるが、私達の代弁者がどれ程勉強して、どれ程調査をしてどの方向へ町政を向かわせようとしているのかは傍聴でしか読み取る事ができない部分がある様な気がしました。

今までは議会だよりで充分であると思っていましたが「生の声を聞けななきゃダメだ」と改めて感じました。自分なりに議会の傍聴に興味を湧きましたのでこれからは時間を削ってでも傍聴をし、町政のゆくえを見守りたいと思いました。

## 軌跡

新型コロナウイルスの蔓延から始まった今年も、残り半年となりました。

計画されていた行事が全て中止となり、国内経済状況も世界恐慌以上の不況と報道もあります。本町においても、基幹産業を中心に大きな影響を及ぼしているのが現状です。

そのような中、移動制限が緩和され、ようやく経済が動き始めた矢先、7月4日早朝の大雨が県南を襲い、人吉球磨地域に甚大な被害をもたらしました。本町でも、住居や道路、農地等に多くの損害が発生し、今後の生活も厳しくなるとの声も聞かれます。

特に、人吉市や球磨村の被害は想像を超えるものとなり、人的物的被害が出てしまい、経済圏を共にする本町としても、避難先の提供、教育支援等できる限りの対策を検討していく必要があると考えます。

今後、50年に一度の大雨が、数年に一度と聞かれることになるかもしれません。最後に、今回被災された方々に、心からお見舞いを申し上げますと共に、人吉球磨地域の早期復旧復興を遂げたいと願うばかりです。

（文責 早田 和彦）

### 【広報特別委員会】

委員長 荒川 孝一  
副委員長 早田 和彦

委員 池田 秀晴

岡田 武志  
石松まゆ子

議長 金山 民幸